



2学期の自己評価は？

校長 山本 桂一

いよいよ師走となり、今年も残すところあと1か月となりました。この11月にはたくさんの行事が行われ、生徒たちはそれぞれいろいろなことを感じ、多くのことを学んだのではないかと思います。



11月8日(金)の「先輩に学ぶ会」では、星稜高校の山瀬慎之助・奥川恭伸先輩が本校(母校)を訪れ、本校生徒と宇ノ気小、金津小の6年生に、野球で学んだことや中学校時代のこと、そしてこれからに向けての抱負など、たくさんのことを話してくれました。「小さな目標を立てて一つ一つクリアしていくことが大切」や「ライバルを持てば努力がしやすくなる」など、熱いメッセージを届けてくれ、後輩たちは大きな感動と勇気をもらったようです。久保千浪さん(本校出身の元アナウンサー)の司会で、緊張感の中にも楽しい雰囲気が感じられる素晴らしい会になりました。これからプロの世界に進む2人をみなさんで応援していきたいと思っています。

11月6日～14日の9日間、メスキルヒ市の中学生がかほく市を訪問しました。本校へは4日間来校し、授業や給食・清掃・部活動などを体験しました。生徒たちは、英語を使って、また手振りや身振りで何とか会話をしようとしていました。メスキルヒ市の生徒と楽しい交流ができ、とても貴重な機会になりました。メスキルヒ市との交流は今後で34年になるそうですが、今後の交流活動がさらに発展していくことを期待しています。



さて、12月に入り、3年生はいよいよ「進路選択」をする時期となりました。自分の夢に向けた第一歩を踏み出すことになります。今まで学習してきたことを生かし、将来の夢や自分の適性を考慮した進路選択をしてほしいと願っています。保護者の皆様には、人生の先輩として、お子様の良き相談相手(サポーター)となり、温かく見守っていただければ幸いです。1・2年生も、今年一年や2学期を振り返り、それぞれの学年にふさわしい姿に成長しているかを見つめ直してほしいと思います。寒くなってきましたが、2学期のまとめと3学期(そして進級・卒業)への準備期間として、12月の日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

◇ ◇ 人権について考えよう ◇ ◇

*** 12月4日(水)～10日(火)は人権週間です ***

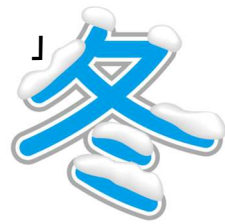


今年も例年のように全国で「人権週間」が展開され、各地でいろいろな取組や啓発活動が行われます。昭和23年(1948年)に国際連合総会で『世界人権宣言』が採択されたことを機に、日本では翌年の昭和24年から毎年12月4日～10日が「人権週間」と定められました。学校では、この期間、人権について考える機会を設定し指導していく予定です。ご家庭でもこの機会に、お子様と人権に関して話し合われてはいかがでしょうか。

○12月の生活目標

「充実した生活を送り、2学期をしめくくろう。」

キーワード『冬に鍛えよう』



「気づきの服装」3つの取組

「防衛体力を高める」「健康に過ごす」「衛生的な生活を送る」「安全な生活を送る」の観点から、①「薄着」②「防寒着の着用」③「ブーツ・スノトレでの登校」を指導しています。

冬が近づくにつれ、朝ぎりぎりに登校する生徒が見られるようになってきました。寒くなり、行動が遅れがちになっているようです。時間を守ることは、社会に出ても大切なことで、人から信頼されることにつながります。学校でも、授業の開始や給食準備など、決められた時間に余裕を持って行動できるように指導しています。ご家庭でも早めの準備、行動を心がけるように声かけをお願いします。

【冬休み間近です】

いよいよ冬休みが近づいてきました。休み中は、普段の生活ではできないことに積極的に挑戦し、有意義な冬休みを送ってほしいと思います。休み前に学校で冬休みのきまりについて書かれたものを配布しますので、生徒と一緒にご覧ください。休み中は生徒が自分で判断し、行動しなければならない機会が多くなります。正しい判断で自分をコントロールできるように保護者の皆様も温かくも、厳しくお子様を見守っていただきたいと思います。

○12月の学習目標

「2学期の反省をして、よりよい学習習慣にしよう。」

2学期も残すところあと22日となりました。2学期には何を身につけ、また何が身につけていないのでしょうか。それらを教科毎に確認しておく、これまでの学びがより確かなものになります。2学期末というこの「節目」に、一度自分を振り返り、次のステップに進むための準備をしましょう。



◇心閑則為貴

心静かなれば則ち貴しとなす

授業や家庭学習には、集中して取り組んでいます。禅の言葉に「心閑則為貴」というものがあり、心静かな暮らしこそが良いとされています。

私たちは、今多くの音や映像に振り回されています。有象無象の情報によって、私たちの心は荒れた水面のようになります。そうすると、「学び」も浅くなりがちです。忙しいは「心を亡くす」と書きますが、人間関係のトラブルも起きやすい状態とも言えます。

12月は特に忙しい時期ですが、そういう時だからこそ、心静かに暮らすように心がけてみませんか。本校の「ベル学」も授業に落ち着いて入るために、これまでずっと行ってきました。家庭では、学習や読書をする際にメディアから離れるようにすると良いです。西田幾多郎先生も、温かいお茶などを片手に、深々と降る雪をBGMとしながら、心静かに考えていたのではないのでしょうか。